

新島襄の略歴

新島の生涯

- 第1ステージ
 - 「新島 七五三太(しめた)」の時代
- 第2ステージ
 - 「ジョゼフ・ニイシマ」の時代
- 第3ステージ
 - 「新島 襄」の時代

- 第1ステージ
「新島七五三太」の時代
1843～1864年

新島の誕生

- 1843年、江戸の安中藩邸で生まれる。
- 上州(群馬県)系江戸っ子
- 21歳まで藩邸内で暮らす。
- 誕生日は、旧暦の1月14日、新暦の2月12日。

サムライの子として

- 父・民治は安中藩士、職務は祐筆(書記)
- 新島は「サムライ」の子。
「サムライ」としての自己理解を持つ。

藩邸での生活

- 一辺が約125メートルのほぼ正方形の中

旅の経験（１）

- **安中への旅**
 - 1861年、19歳のとき
 - 藩主の護衛として

7

旅の経験（２）

- **玉島（現在の倉敷市）への航海**
 - 1862年、20歳のとき
 - 自由を満喫する。
 - 「家出」「脱国」願望が高まる。

8

密出国への刺激を与えた書物（１）

- 『**連邦志略**』
 - 中国に派遣されていたアメリカ人宣教師（ブリッジマン）が漢文で書いた。
 - 大統領選挙を知り「脳がとろけ出そう」になるほど驚嘆。

9

密出国への刺激を与えた書物（２）

- 『**ロビンソン・クルーソー物語**』
 - 「冒険」への野望を駆り立てられる。
- **その他の書物**
 - キリスト教にも触れる。

10

密出国（1864年）

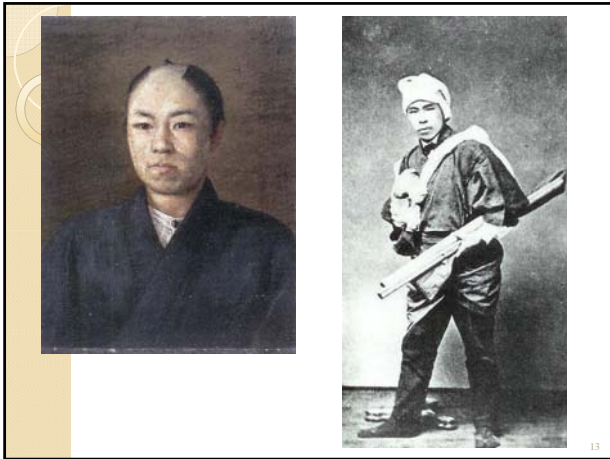
- **快風丸への乗船**
 - 出港準備は一週間。
 - 一年間の函館留学が名目。

11

函館から上海へ

- **函館から上海へ**
 - ニコライ神父（ハリストス正教会）との出会い
 - ベルリン号（セイヴォリー船長）に乗船。

12



上海からボストンへ

- 上海からボストンへ

- ワイルド・ローバー号(テイラー船長)に乗船。

14



- 第2ステージ

「ジョゼフ・ニイシマ」
の時代

1864～1874年

16



ボストンへ

- テイラー船長との出会い

- 新島を「ジョー」(Joe)と呼ぶ。
- ボストン到着後、船主のハーディーに新島を紹介する。

18

ハーディーとの出会い

- ハーディー宛の手紙
- ハーディーは新島の名前を「ジョー」から「ジョゼフ」に改称する。
 - 以降、新島は **Joseph Neesima** と自称する。

19

新島七五三太から ジョゼフ・ニイシマへ

- 安中藩士から国際人へ
- サムライからクリスチャンへ
 - 大小二本の日本刀を手放す。
 - 香港で漢訳聖書を買う。

20